



野登小 HP ↑

学校アンケートにご協力ありがとうございました

主な項目のアンケート結果と内容について報告します。「A そう思う」「B ややそう思う」「C あまり思わない」「D 思わない」の4段階評価で回答していただきました。(E「わからない」もあり)表の中の数字は、A+Bの肯定的評価の割合を示しています。今年度もQRコードを活用した集計で実施しました。

◎学校は楽しい

9割程度の肯定的評価となっています。保護者の回答が向上してうれしく思います。「A そう思う」の回答を児童・保護者ともに迷わずしていただけるよう、今後も、保護者・地域の方々とも連携し取り組んでいきたいと思ひます。

学校は楽しい	児童		保護者	
	R5	R6	R5	R6
肯定的評価	93%	92%	89%	98%
A「そう思う」	58%	68%	73%	76%

◎学校教育に期待すること

地域	保護者	教職員
コミュニケーション力(29.2%)	コミュニケーション力(27.0%)	コミュニケーション力(33.3%)
地域や社会に貢献する態度を育む(16.7%)	学習意欲を高める(20.7%)	規範意識や思いやりの心(21.6%)

昨年度同様に、3者共通して「コミュニケーション力」の項目が高い割合を示しています。2番目に多かった項目に、それぞれの立場での願いの一端が表れているように思ひます。授業では、ペアやグループ活動を大切に、自分の考えを相手にわかりやすく伝え、話し合う活動を大切にしています。また、ふるさと学習等地域の方との関わりの中で、体験を通じた学習を続けています。そして、地域ふれあい運動会や創立150周年記念行事の開催、小規模特認校制度の導入なども進めていきます。学校は集団で生活する場であり、様々な人との出会いや経験を通してコミュニケーション力を育んでいきたいと思ひます。

◎挨拶ができている

挨拶ができている	児童		保護者		地域		教職員	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
肯定的評価	95%	97%	70%	83%	83%	44%	61%	50%
A「そう思う」の割合	67%	62%	30%	29%	17%	22%	17%	0%

児童や保護者は、「挨拶ができています」と感じている回答が多いですが、地域・教職員の評価は、低くなっています。「挨拶する子」の目指す姿を共有するとともに、相手に伝わる挨拶の仕方について、指導していく必要があると思ひます。今年度も、「あいとも運動」も含め、児童会中心に挨拶運動に取り組んだり、下校集会で挨拶の仕方を練習したりして取り組んでいます。児童会選挙の演説の中に、「挨拶がいっぱいできる学校にしたい」と抱負を語る候補者が何人もいました。今後も、明るく、笑顔でつながれるように気持ちの良い挨拶を実践できるよう取組を進めていきたいと思ひます。

◎聞く・話す

相手の気持ちを考えた行動や言葉遣いについて、児童と保護者の評価が下がって

相手の気持ちを考えた行動や正しい言葉遣いができている	児童		保護者		地域		教職員	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
	90%	78%	76%	66%	58%	94%	89%	90%

います。お互いに気持ちよく過ごせるためにどうしたらいいのかを子どもたち自身が考え、行動していくことが大切です。時・場・相手に応じた正しい言葉遣いを子どもたち自身の判断で使えるよう、日常的な指導・支援を強化していきたいと思います。

話を聞くことについては、児童の肯定的評価がほぼ100%になっています。教室に「聞き方マスター」を掲げ、日常から聞く姿勢を

聞くことができている	児童		保護者		教職員	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6
	100%	99%	70%	71%	67%	90%

ていねいに指導する取組を進めています。

また、10月に行った中部中校区研究発表会では、道徳科の授業公開を行い、たくさんの参観者の前でも臆せず発表したり、話し合ったりする姿が見られました。児童には、自分の伝えたいことをしっかりと声に出し、全校の子どもたちの前で話すことができるよう指導しています。

これからも子どもの発達段階に応じて、子ども自身が「話したい!」「聞きたい!」と思える場面を学校生活の中で積み上げられるよう取組を継続していきたいと思います。

◎学習に関する児童アンケート

「国語の授業がわかる」が100%となっており、算数も90%を超えています。しかし、中には学習内容を理解するのに時間がかかっている場面もあります。一斉学習のみならず、ペア・グループ学習やタブレット端末を活用した学習等、児童の理解度に合った学習方法を取り入れることや、のびのびタイム（補充学習）の更なる充実など、すべての子どもが「授業がわかった」といえるよう授業づくりを引き続き進めていきます。

学校では、朝の学習の時間や休み時間等に読書を行う時間があります。子どもたちは、毎朝、図書館へ行き、本を借りており、1月末で1人当たり約202冊の図書利用があります。また、学校司書の活用、図書館アドバイザーによる図書授業、ボランティアによる朝の読み聞かせ等、児童が本に触れ合う機会を積極的に設けています。そんな中、アンケート項目「読書は好き」の肯定的評価が74%に留まっている状況を踏まえ、ただ読ませるだけでなく、楽しんで読めるような工夫をしていく必要があると考えます。子どもたちの読書に対する思いをつかみながら、本の世界を楽しめる体験を積み重ねていきたいと思っています。

児童アンケート							
国語がわかる		算数がわかる		タブレットを使うと授業が分かりやすい		読書は好き	
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
95%	100%	91%	91%	97%	95%	74%	74%

◎人権学習の取組

仲間について考える学習は大切。 学校は、人権学習等に取り組んで いる。	児童		保護者		地域		教職員	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
	100%	98%	81%	83%	83%	78%	89%	90%

人権集会を、全校縦割り班での話し合い活動をメインにして2回行いました。1月には、人権擁護委員の皆さんに絵本の読み聞かせとお話をさせていただき、「自分らしく生きるために大切なことを考えよう」をテーマに人権を学び合いました。ギター演奏による効果音を入れていただいたり、心温まる歌（振り付けあり）をみんなで歌ったりして、子どもたちは和やかな雰囲気の中で学び合いました。グループ交流では、高学年児童の進行のもと自分の意見を言ったり聴いたりしました。最後には、今日学んだことを短い文章にしてまとめ、発表し合いました。人権を考える有意義な時間となりました。また、年間を通して、道徳や学級活動の授業や朝の会・帰りの会等の時間にお互いを認め合ったり、相手の気持ちを考えたりする活動を行っています。さらに総合的な学習の時間の中に、人権授業を位置づけ、参観で保護者や地域の方々に見ていただく機会ももちました。今後も、学校での子どもたちの学びの様子を保護者や地域の方へ発信し、人権について大人も子どもも共に考え、大切にできる風土を広げたいと思います。

◎学校の取組に関する（保護者アンケート）

わかりやすく周知 (通信・HP)		丁寧な対応		安心・安全		わかりやすい授業		読書活動		地域学習	
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
97%	93%	95%	93%	97%	88%	92%	81%	92%	85%	97%	91%

全体的に、肯定的な評価が下がっています。2月より導入した「つながる連絡」等の有効利用を図り、わかりやすい情報発信に心がけていきます。保護者や地域の方の協力を得ながら、積極的に読書活動や地域学習に取り組むとともに、子どもたちが安全・安心に過ごすことのできる学校づくりを進めていきます。

◎家庭生活に関するアンケート

朝ごはんを毎日食べる				家庭学習に取り組む				ゲーム等の時間を決めている			
児童		保護者		児童		保護者		児童		保護者	
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
100%	95%	97%	100%	98%	92%	84%	80%	65%	59%	70%	76%

「朝ごはんを毎日食べる」など、望ましい学習・生活習慣の定着が概ね見られます。ゲーム等の時間などルールをしっかりと決めていただくなど、子どもたちの心身の健康を育むために、ご家庭での見守りを今後もよろしくお願いします。

子どもたちの健やかな成長は、家庭生活を基盤として、学校での集団生活や地域との交わりを通して高められると考えます。学校の役割は、目の前の子どもの姿を受け止め、子どもの力を信じて、子ども自身が考え、行動することを見守り・指導支援していくことです。今後も家庭・地域・学校が、目指す子どもの姿を共有しながら、子どもたちの健やかな成長を共に育んでいきますよう、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いします。